

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式 2

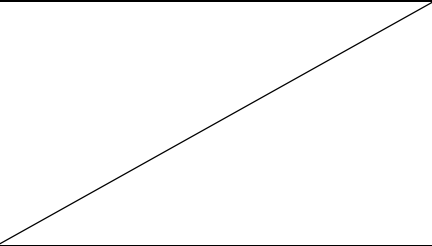
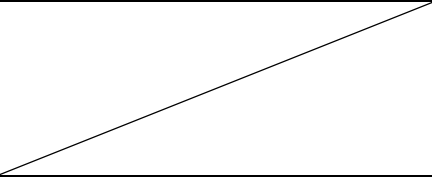
公表日:令和 6 年 1 月 30 日

事業所名:かたつむりハウス上津台

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	適切でない時がある。区分けした部屋が必要な時がある。音に苦手な子への対応がイヤマフでしか解消できていない。	適切だと思う。	音に関してはイヤマフでしか対応できない。パターションで仕切って個別に対応すること。
	2 職員の適切な配置	できている。	適切かどうかは分からない。	その日の職員名は記載されている。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	適切	適切かどうかは分からない。	使いやすいように工夫している。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	適切でない時もある。	適切かどうかは分からない。	活動がドッジボールになると、柱があって狭い時もある。
業務改善	1 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	参画している。		毎日の話し合い、全体会議の時に職員で改善内容を提案し、改善計画を立てている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	相談員さんからの意見を聞き、改善をしていっている。		相談員さんが来所された時に、様子を見てもらい、どこが問題化客観的に意見を聞いて改善していっている。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	年に何回かの研修を行っている。		受講したいものの希望を募って受けてもらい、それを全体で共有している。

適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	実施している。毎月の全体会議での個別支援方法、計画を話し合っている。	適切だと思う。	毎月の会議で話し合いをして支援の内容を再考している
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団でできることできない子を分けて、療育を受けてもらっているものもある。		その日の様子で、個別で対応しているときもある。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具体的に示している。		毎日の記録をつけている。保護者にはファイルでの起債、写真などで支援報告をしている。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施している。		行われていると思う。
適切な支援の提供+(続き)	5	チーム全体での活動プログラムの立案	実施している。	支援内容は記載し、その日の様子を伝えている。	毎日の計画をして、実施している。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	支援ができています。		利用時間が長い日は遠足や畑作業、イベント、公園などを設定している。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	その月に問題があったりしたらSSTでの課題をみんなに提案したりして、プログラムも変更したりしている。		イベントは毎月少しずつ違った物を提案したり、遠足は社会見学も増やしていつている。

	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日の担当を決めて確認している。		重度の子に対しては必ず担当をつけて、その他の子も最近の様子を踏まえて担当を決めて伝えている。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日は送迎に出て帰ってからの振り返りは、ノートに記載してもらったことを翌日に話し合い、共有している。		当日に何か大きなことがあった場合は、その日に話し合い、翌日も全員で共有している。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	取り組んでいる。		なし
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	毎月の全体会議で見直している。		なし
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談員さんを含め学校、保護者との担当者会議を行っている。		参加している。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	なし		なし

3	<p>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</p> <p>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備</p>	<p>協力医療機関は提携している。</p>		<p>提携しているが、受診したことはまだない。</p>
4	<p>児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有</p>	<p>児童発達を利用されている方に関しては情報共有できている。</p>		<p>電話やお手紙での情報共有している。</p>
5	<p>放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、</p>	<p>まだ実績がない。</p>		<p>なるべく情報収集している。会社でA型支援事業所が活動し始めているので体験を行っている。</p>
6	<p>児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進</p>	<p>なるべく受講している。</p>		<p>職員が受けたいものを積極的にうけてもらっている。</p>
7	<p>児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供</p>	<p>あまりないので、機会があったら体験させたい。</p>		<p>機会があったら交流していきたい。</p>

	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の行事があまり積極的に行われていない。	分からない。	何か行事で参加できそうなものは参加希望していきたい。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	できている。	説明を受けている。	なし
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	できている。	できている。	なし
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	個別で懇談の時に提案している。	もっと希望する。	なるべく実施していきたい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	迅速な対応を心掛けている。	満足	なし
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	できている。	満足	共通理解できるように努力している。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナが収まったが、今年は開催予定。	そろそろ実施してほしい。	実施していきたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	迅速な対応を心掛けている。	満足	なし

	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	配慮している。	良い	なし
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	次月の連絡やきんつ今日の報告などはラインやメッセージなどで発信している。他ホームページ	良い	なし
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	対応している。	できている。	なし
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	感染症マニュアルは少しあいまい	どちらとも言えない	感染症マニュアルの作成を予定する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練を定期的実施している。	良い	なし
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	研修を行って、研鑽している。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	重要事項に記載し、保護者にも説明している。		なし

	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーのある子には対応している。		なし
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	記録して、全員で共有している。		なし